

# 周南市立 新南陽市民病院だより

電話：0834-61-2500

FAX：0834-61-2501

メールアドレス：renkei@city-hp.or.jp

ホームページ：http://www.city-hp.or.jp



## 新南陽市民病院の基本理念

### 市民に奉仕する医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に、親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティー」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

### 新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で指定管理者制度に基づき公益財団法人医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。


また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。

### 目次

### CONTENTS

新年のごあいさつ .....	2
特集・クリスマスコンサート .....	3
看護部・老健だより .....	4
薬剤部・中央部だより .....	5
みなさまの声 .....	6
地域連携室だより・医事統計 .....	7
外来診察一覧表 .....	8



A decorative header for a New Year greeting card. It features a yellow paper umbrella on the left and a branch with pink cherry blossoms on the right. The title '新年のごあいさつ' is written in a large, elegant black font in the center.

# 新年のごあいさつ

周南市医療公社 理事長 小田 裕胤

周南市医療公社の皆様には爽やかな新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

一昨年の衆議院選挙での政権交代から昨年の参議院選挙でのねじれ解消と混迷を深めました我が国の政治体制もようやく安定してきた感があります。とくにアベノミクス効果が様々な分野に波及し、景気の回復傾向を少しずつ実感できるようになってまいりました。

医療公社も昨年4月1日には念願でした公益財団法人の認可をいただきました。これは松谷朗病院長の陣頭指揮のもと皆様のご尽力の賜物と篤く御礼を申し上げます。

そこで、開設以来14年目を迎えます本年は市民病院をはじめ介護老人保健施設ゆめ風車、訪問看護ステーションなど医療公社の全力を挙げて「市民に奉仕する医療」の基本理念のもと、一層市民の皆様のご満足いただけるよう公益性を追求してまいりたいと存じます。また、ご提案いただきました検診センター、病院拡張工事につきましては、実現に向けてさらに努力して参ります。

一方、消費税率の上昇に伴います諸経費の増加、診療報酬改定に伴います様々な懸案事項などが想定されますが、皆様とともに一丸となって、対処してまいりたいと存じます。

本年が職員の皆様と医療公社にとりましてより良い年でありますよう祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新南陽市民病院 院長 松谷 朗

新年明けましておめでとうございます。昨年も医療公社、市民病院にとっていろいろなことがありました。まずは4月1日をもちまして周南市医療公社は公益財団法人へ移行しました。ますます公益性を高めて地域医療に貢献したいと思えます。同じく4月に内科系の副院長として増原昌明先生をお迎えすることができました。消化器検査件数が格段に増加したのみならず、先生は専門領域である肝臓病に関する啓蒙活動に熱心であり、講演会の会場にはあふれんばかりの参加者がありました。8月以降短期間ではありますが3名の研修医の先生方を受け入れました。これは徳山中央病院の顧問小川先生のご配慮で実現しました。現場の者たちにとってフレッシュマンの存在は大いに刺激になったようです。今後はもう少し枠を拡大して受け入れるよう努力します。

私の担当科（血液・糖尿病・膠原病）に関しては松隈先生が着任し、ますます血液疾患の診療が充実、無菌室もほぼ7割方稼働という状況です。彼には中森先生、鈴川先生と引き継がれた糖尿病外来も担当してもらい、当初はあまりの患者さんの多さに戸惑っていましたが、今はてきぱきとこなしています。

以上のような状況ですから職員、なかでも医師たちの負担は大きく、今後は負担軽減対策と地域医療の充実との両立が大命題です。これをクリアするには病院の増改築、医師の増員に全力で取り組む必要があります。皆様のご子息、お知り合いに山口県で働きたいという方があれば是非ご一報ください。午年が皆様、医療公社にとり、最良の年となることを祈念して新年の挨拶とします。

特

集

## 乳がん検診を受けましょう

外科部長

橋本 毅一郎

今回は乳がん検診のお話です。

乳がんは女性がかかる癌の第1位となっており、1年間に約1万2000人の方が亡くなられています。発症は40歳後半から50歳前後が最も多く、比較的若い世代に多いがんと言えます。しかし、早い段階で診断、治療を受けた場合の生存率は非常に高く、すなわち治る可能性の高いがんとも言えます。

乳がんの早期発見には、自己検診をすること（自分でしこりなどの異常がないか触ってみる）と乳がん検診を受けることが大変重要です。マンモグラフィー（乳房X線検査）による乳がん検診は、乳がん死亡率を減らすことが確認されています。多くの先進諸国でも推奨されており、アメリカやイギリスでは50歳前後の50%以上の方がマンモグラフィーを受けています。その結果、それらの国々では、乳がん発生率が増加しているにもかかわらず、乳がん死亡率は減少しています。ところが、日本では乳がん検診の受診率はまだ20%程度です。このため、日本では乳がん発生率に比例して乳がん死亡率も増加し続けています。

現在、2年に1回40歳以上の方に対してマンモグラフィーによる検診が勧められています。当院では週2回（月曜日と金曜日の午後）乳がん検診を行っています。予約されるだけで準備は何もありません。症状がなくても乳がん検診を受けられることをお勧めします。

※ピンクリボンキャンペーン=乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーン



ピンクリボン

## クリスマスコンサート

総務課

多田 大貴



12月24日（火）クリスマスイブ、新南陽市民病院に美しい音色のクリスマスプレゼントが届きました。

今年、素敵なクリスマスプレゼントを当院に届けてくれたサンタクロースは【アンサンブルユニット・クローバー】の5名の皆さんです。オカリナやフルート、バイオリンなど、澄んだ音色によって奏でられる『花は咲く』や『故郷の原風景』の演奏に、集まった観客の皆さんも心を奪われ、また、ギターやベースによって演奏される『赤鼻のトナカイ』や『ジングルベル』には心を躍らせていました。

約60名の聴衆が集まり、1階のロビーには入りきらないほどの大盛況で、入院されている患者さんは、「クリスマスが来た実感が湧いてきたよ!」と大変喜ばれていました。



## 看護部だより

看護部長 福田 豊美

### ブルーサークルイベント

世界糖尿病デーのシンボルマーク「ブルーサークル」は、「糖尿病啓発運動への団結」を意味し、「糖尿病との闘いのため団結せよ」のキャッチフレーズのもと、世界中で糖尿病抑制キャンペーンを行っています。

当院でも9年前から、キャンペーンを行い、チーム医療で糖尿病予防に力を入れてきました。今年も、11月5日(火)から1週間「糖尿病週間行事」と11月10日(日)に「ブルーサークルイベント」を行いました。

イベント内容は、パネル展示・糖尿病検査・健康相談・講演会・試食会となっており、無料で血液・尿検査や各専門分野が健康相談を行いました。参加者数は、55名と昨年より少なかったのですが、相談コーナーを利用される方が多く、糖尿病、食生活、運動など気になる分野で積極的に相談されていました。

講演会では、当院の松谷院長が「糖尿病治療の正しい考え方」をテーマに、ユーモアを交えながら糖尿病や治療について幅広い視野から講演され、参加された方からは、「斬新でわかりやすかった。来年も聞きたい」等の感想がありました。試食会では、塩麴で味付けした豚ヒレ肉をメインにサラダ、汁物などを試食され、500kカロリーで塩分控えめでも、味・量ともに満足と好評でした。

アンケート結果では、ほとんどの項目で「良かった」以上の評価をいただきましたが、これからも、一人でも多くの方が糖尿と闘えるよう、チームで団結し、「ブルーサークル」の輪を広げていきたいと考えています。



11月14日  
ブルーにライトアップされたゆめ風車



## 老健だより

看護師 下中 道子

### 家族会

11月8日(金)老健ゆめ風車で、利用者様の御家族を招いて家族会がありました。

二部構成になっており、一部では市の保健師による認知症予防の話があり、二部では近光管理栄養士による食事紹介、首藤副施設長による学習療法についての説明がありました。施設の食事はどんな物が出るのか、どんな様子で過ごしているのかは一時の面会では見えにくいものです。

イベント食や手作りおやつ、夕食時の玄米ごはん等、工夫されている点を聞いて驚き、また、昨年より開始となった学習療法の効果についても家族の皆様が興味深げに聞かれている姿が印象的でした。

学習療法の実演では御家族に見学していただき、その時に利用者様の若い頃の様子も御家族から聞くこととなり、新たな一面も知ることができました。家族会を通して御家族と、より関わられた事を嬉しく思います。



## 「医師から処方してもらった薬の期限は？」

皆さん、今まで病院でもらった薬の使用期限を気にされたことはありませんか？最近処方日数が長くなる傾向にあり、病院でもらった薬の期限についての質問を受ける事がしばしばあります。前は医薬品の有効期限について述べましたが、今回は病院でもらった薬の期限について述べたいと思います。

一般に薬局で購入した薬には使用期限が記載されています。これは、前回お話しした医薬品としての有効期限を表しています。一方、病院でもらった薬には使用期限の記載はほとんどありません。それは、医師がそれぞれの患者様一人一人の症状や体質に合わせて、薬を服用しなければならない日数分か、次回受診日までの薬しか処方しないからです。従って処方された日数が使用期限となります。しかしながら上述したように処方日数の長期化に伴い、飲み忘れなどで薬が余ったり、頓服などでは、そのまま残ったりすることもよくあるようです。「以前もらった薬」は、「今の症状」に合わないことも多々あります。「以前にもらった薬が残っているから飲んでみよう」と自己判断で使用しないで、残っている薬は基本的に破棄するようにお願いします。また、いつもらった薬か不明なものや、使用して良いか解らない場合は、医師や薬剤師に相談するようにしてください。



## 「何歳になっても筋力は強くなる？」



理学作業療法室で患者さんとリハビリを行っているとき、ときどき「もう年じゃから、運動しても筋力なんてつかんじやろ」と言われることがあります。

一般的に筋力は20～30歳代をピークとして徐々に低下していき、50歳代より低下の割合が大きくなり80歳代までに30～50%低下するといわれています。特に足腰の筋力は弱くなりやすいといわれています。足腰の筋力が弱ってくると、歩行や身の回り動作など、普段行えていた事が、徐々にいきなり難しくなってしまいます。

しかし、多くの研究で、高齢者の筋力低下は筋力トレーニングによって比較的容易に改善することが証明されています。つまり、何歳になっても、筋力トレーニングを行えば、筋力は強くなり、筋力が低下することによって生じてくる動作能力の低下を防ぐことができるということです。

体の機能を維持・向上させるためには毎日の生活の中で体を動かすことを意識することが必要です。

## みなさまの 声

当院では、外来・入院患者さん、お見舞い等の皆さんから様々なご意見ご要望をいただいております。いただいたご意見等につきましては、できることから改善、検討しております。お寄せいただいたご意見等につきましては一階の掲示板に掲示しております。今回は、今までいただいたご意見等の中から選んでご紹介いたします。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

**Q** 朝・夕は冷え込みがひどいので暖房を入れてほしい。

貴重なご意見をありがとうございます。また、ご不快な思いをおかけして、まことに申し訳ございません。

**A** 暖房運転につきましては、室内室外の気温や湿度を測定し、皆様が快適に過ごしていただけるよう設定しておりますが、患者さんのご意見やご要望も取り入れ、柔軟に対応してまいります。

今後とも、快適な入院生活を送っていただけるよう、病院スタッフ一同努めて参りますので、お気づきの点等ございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

**Q** デイルームの時計の位置を変えて欲しいです。

貴重なご意見をありがとうございます。

**A** 壁時計の位置につきましては、各階統一にしており、デイルーム（食堂）を利用する患者さんから見えやすい位置に設置しております。ご不便をおかけしますがご理解のほどよろしく申し上げます。

今後とも、患者さんやご家族の皆さんに快適な入院生活を送っていただけますよう、スタッフ一同努めて参ります。

## 糖尿病食のレシピ (変わりスープ)

～フードソムリエ よりアレンジ～

### 材料 (2人分)

- ・大根おろし……100g
- ・大 根……80g
- ・カ ブ……150g
- ・だ し 汁……350ml  
(かつお節と昆布)
- ・カブまたは  
大根の葉……少々
- ・み そ……小さじ1
- ・コンソメ……1/3個
- ・豆 板 醤……小さじ1/3
- ・片 栗……少々



### 作り方

- (1) 大根とカブは小さめの乱切りにする。
- (2) 鍋にだし汁を入れ沸騰したらコンソメと大根を入れ、2、3分してカブを加えて煮る。
- (3) 軟らかくなったら大根おろしを加え煮たせる。
- (4) みそと豆板醤で調味し水溶きした片栗でとろみをつける。
- (5) 器に盛りつけ、カブまたは大根の葉をあしらう。

～1人前 55kcal、塩分0.8g～

### ポイント

- \* 不思議な味のあっさりスープです。みそ・コンソメ・豆板醤のかわりに塩で調味しおろし生姜やゆずを使っても美味しいようです。素材のカロリーは低いので好みの味付けでお楽しみください♪
- \* 淡泊な味なので溶き卵や豆腐、白身魚を加えても良いです。

## かかりつけ医紹介コーナー設置

当院では、近隣の医療機関のご協力を得て11月から地域連携室前に「かかりつけ医」紹介コーナーを設置し、紹介パンフレットを置いています。

当院では、急性期医療を中心とした医療を提供するため、症状の安定した方には、かかりつけ医への紹介をおこなっています。また、当院での治療の必要が生じたときには、かかりつけ医から紹介していただく形を理想として地域完結型の医療を目指しています。



《安心して、病院とかかりつけ医を利用していただくため、今回紹介パンフレットを作成しました》

## 医事統計

### ◆月別平均在院日数

(単位：日)

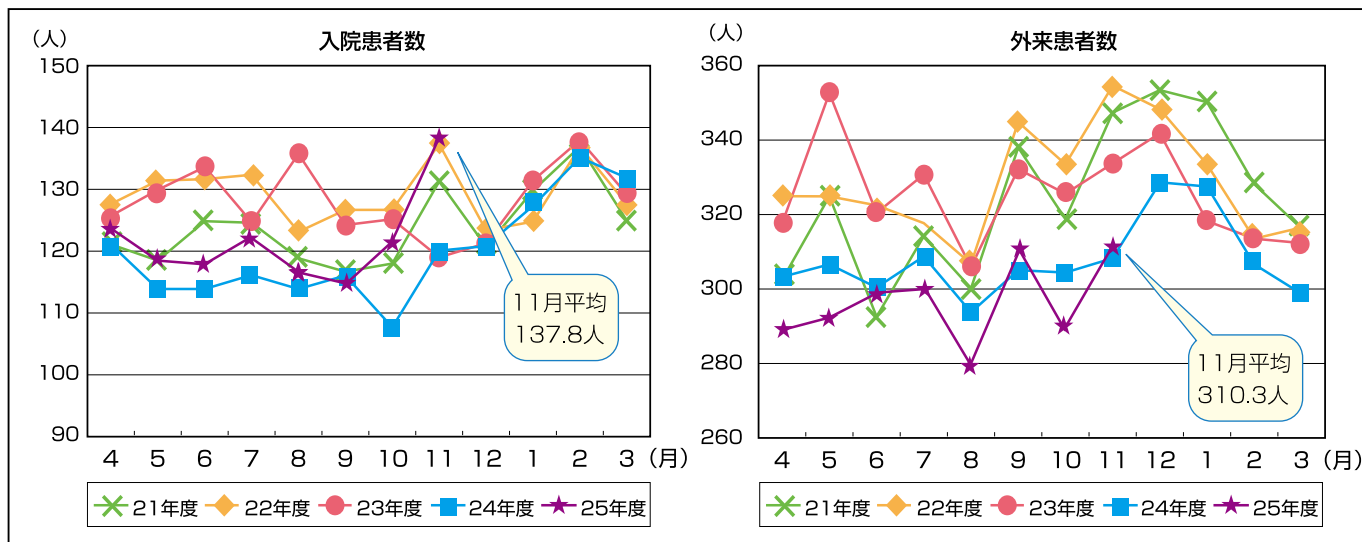
	24年度	25年度	対前年度 (H25-H24)
4月	17.29	16.21	▲ 1.08
5月	16.72	16.33	▲ 0.39
6月	17.37	15.71	▲ 1.66
7月	17.92	15.49	▲ 2.43
8月	14.86	17.37	2.51
9月	16.24	16.98	0.74
10月	13.70	17.68	3.98
11月	14.98	18.41	3.43
平均	16.14	16.77	0.63

### ◆月別病床利用率

(単位：%)

	24年度	25年度	対前年度 (H25-H24)
4月	80.7	83.6	2.9
5月	76.0	79.8	3.8
6月	76.0	78.2	2.2
7月	77.7	82.0	4.3
8月	76.1	77.4	1.3
9月	77.7	75.8	▲ 1.9
10月	72.2	80.8	8.6
11月	80.9	91.9	11.0
平均	77.2	81.2	4.0

### ◆月別平均患者数推移グラフ



## 外来診察一覧表

受付 8:00~11:30 診察 9:00~

平成26年1月1日~

科別			月	火	水	木	金
内科	午前	1診	松谷 朗	松隈 雅史	松谷 朗	松谷 朗	松隈 雅史
		2診	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝	松隈 雅史	河野 正輝
		3診	増原 昌明	在津 潤一	増原 昌明	増原 昌明 (在津 潤一)	在津 潤一
		4診	田上 耕蔵	田中 正和	吉賀 康裕	田中 正和	田中 正和
	検査	消化器	在津 潤一	増原 昌明	在津 潤一	横田 恭之	増原 昌明
		循環器	田中 正和	河野 正輝	田中 正和	河野 正輝	
	午後			頸動脈・ 甲状腺工コ一			頸動脈・ 甲状腺工コ一

泌尿器科	午前	月	火	水	木	金
		小西 基彦	小西 基彦	小西 基彦	永田 雄大	小西 基彦

脳外科	午前	月	火	水	木	金
		藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 康弘	稲村 彰紀	藤井 康弘

外科受付 (月・火・水・金) 8:00~11:30 (木) 8:00~10:30 外科診察 (月~金) 1診 9:00~ (金) 2診 10:00~

外科			月	火	水	木	金
午前	1診		鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成
	2診		-	-	-	-	橋本毅一郎

整形外科 (月) 8:00~10:30 (火・水・木) 8:00~11:00

整形外科			月	火	水	木	金
午前	1診		黒川 陽子	黒川 陽子	/	黒川 陽子	休診 (手術日)
	2診		小田 裕胤			小田 裕胤	
	3診		吉村 健	武藤 正記	武藤 正記	武藤 正記	

眼科受付 (月・火) 8:00~11:30 (水) 8:00~11:00 (木) 12:30~14:00 眼科診察 (月・火・水) 9:00~12:30 (木) 13:00~16:15

眼科			月	火	水	木	金
午前			新川 佳代	新川 邦圭	能美 典正	-	休診
	午後		-	-	-	内 翔平	

※変更箇所

脳神経外科……木曜日非常勤医師 藤井 正美 → 稲村 彰紀  
整形外科……月曜日非常勤医師 梅原 深太郎 → 吉村 健

お問合せ

周南市立新南陽市民病院

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15 TEL 0834-61-2500 / FAX 0834-61-2501

